

Trolls in the Park 2016

トロールの森2016

野外×アート×まちなか



トロールの森2016 野外×アート×まちなか

会場：都立善福寺公園（上池）、遊工房アートスペース、ゆうゆう善福寺館、
杉並区立桃井第四小学校、西荻窪周辺店舗

会期：2016.11.3（木・祝）～11.23（水・祝）

主催：トロールの森実行委員会

後援：東京都／東京都東部公園緑地事務所／杉並区／杉並区教育委員会

助成：芸術文化振興基金助成事業／アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）／
全労済地域貢献助成事業／公益社団法人企業メセナ協議会認定

協力：杉並区立桃四コミュニティスクール／都立善福寺公園／西荻北中央公園／関東バス株式会社／
JR 西荻窪駅 / Dila 西荻窪 / 遊工房アートスペース / ゆうゆう善福寺館 なみじやない、杉並！
なみじやない、杉並！PROJECT

Trolls in the Park 2016 Open air × Art × Town

Venue : Metropolitan Zenpukuji Park (upper pond area), Youkobo Art Space, Yuyu Zenpukujikan,
Momoi Daishi Elementary School, Nishiogikubo Area

Period : 2016.11.3 (Tue) ~ 11.23 (Wed)

Organizer : Trolls in the Park Organizing Committee

Nominal Support : Tokyo Metropolitan Goverment Office / Suginami City / Suginami City Board of Education /
Tokyo Metropolitan Government / Bureau of Construction /
Eastern Parks and Green Spaces Administrative Office

Support : Grant for Culture and Arts Promotion / Arts Council Tokyo /
Zenrosai Community contribution grant program / Approved by Association for Corporate Support of the Arts

Cooperation : MOMOSHI Community School / Metropolitan Zenpukuji Park / Nishiogikita Central Park /
Kanto Bus Co.,Ltd / JR Nishiogikubo / Dila Nishiogikubo / Youkobo Art Space / Yuyu Zenpukujikan

「トロールの森」は2002年、杉並区の都立善福寺公園を舞台にした野外アート展としてスタート。2013年には西荻エリアにも展開し、2015年からは善福寺エリアと西荻窪のまちなかでの展覧会やパフォーミングアーツ、プロジェクトを「野外×アート×まちなか」をコンセプトに統合。2016年は、野外とまちなかの連携をさらに強化しました。西荻窪の駅の改札を抜けて路上の児童の作品を鑑賞し、暗渠によるまちの新たな地図を思い起こし、紅葉の始まった公園で現代アートの意味を問い合わせ、コーヒーを飲みながら野外ライブを鑑賞、帰りには古いビリヤード場で最先端のダンスに驚く。そんな楽しみができる秋の1日をご提案します。

Trolls in the Park is a contemporary art exhibition that has been held annually since 2002. The theme of this year is "Open air × Art × Town." Passing through the ticket gates of Nishiogikubo station, observing the work of children on display along the street, imagining a new map of the town as you continue your stroll, reflecting on the contemporary art in a park showing its autumnal colors, enjoying live performances in the open air as you drink coffee, and being surprised by progressive dance in an old billiard hall on your return journey. This is one such way you can enjoy an autumn day!

野外 × アート

野外ならではのダイナミックな作品や、公園の秋の深まりとともに表情を変えるインсталレーションに注目！

空間表現



1 アルムート・リンクとカラーラ・プラツェックの
コラボレーションプロジェクト P4

2 三木 祥子

3 水谷俊博 + 武蔵野大学水谷研究室

4 光彩照明デザイン工房 P5

5 西荻ラバーズフェス

6 女子美術大学短期大学大学部専攻科工房（有志）

P6

7 くわな よしゆき

8 塚本 万里 P7

9 市村 多眞美

10 水野歌鳳グループ P8

11 栗田 昇

12 SiO P9

13 河原 拓巳

14 グリーンベックスキャンドル P10

15 中尾紫香グループ

16 スザンヌ・ムーニー P11

17 桃四コミュニティスクール

ワークショップ（栗田 昇 / 塚本 万里） P12

アートツアー、桃四鑑賞授業、トロールの森春展

P13

アルムート・リンクと カローラ・プラツェック

Almut Rink and Carola Platzek

作庭としての方向性

素材：木、プラスチック、メタル

公園と遊工房アートスペースの2サイトで同時展開。組立式の彫刻作品、書院形式の「違い棚（等身大の「違い棚」のインストレーション）」が形と場所を変えながら、8つの「庭」の物語として会期初日から8日間連続して展開。8日目の作品はしばらくその場所に佇む。このプロジェクトはこの後、ロンドン、ウィーンへと続いていく。

アルムート・リンク
ウィーンを拠点に活動するアーティスト。彼女の作品はリバーポール、ロンドン、東京、横浜、エルサレム、ウィーン、ミュンヘン、北京などで展示されるなど、国際的に活動。

カローラ・プラツェック
ウィーンを拠点に活動するライター / リサーチャー。自身の動筆活動を追求すると共に、アーティストとの共同活動も実施。

<http://www.orientationasgardening.net/>



三木 祥子

Shoko Miki

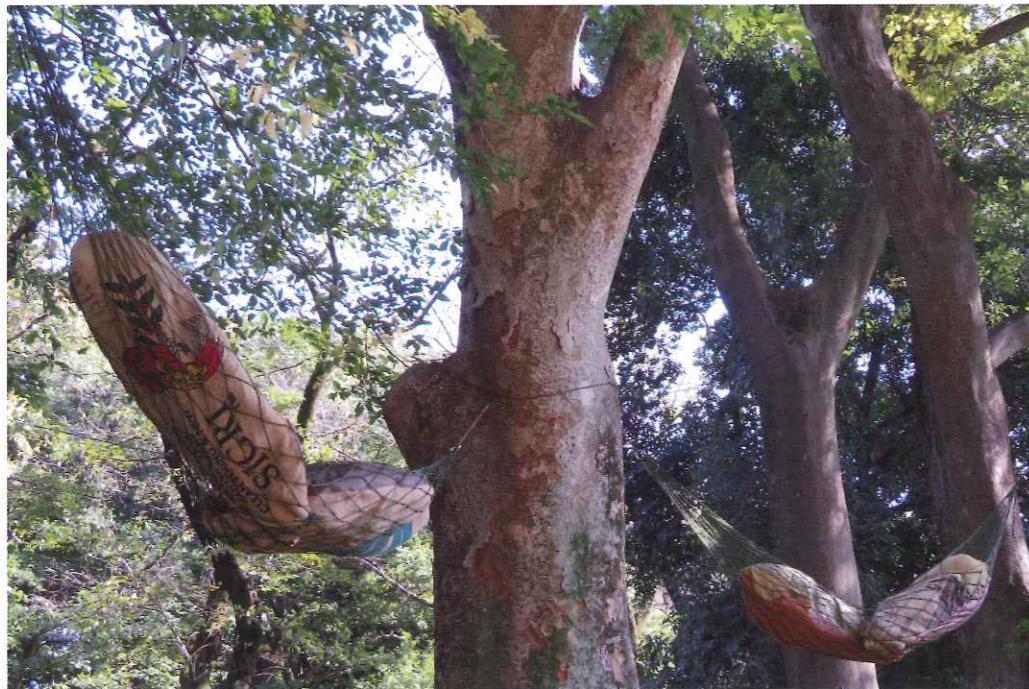
eARTh #16-11

素材：ミクストメディア

フェアトレードのコーヒー豆麻袋をリユースしたインスタレーション。善福寺公園の環境をそこでゆっくりと共有し五感で楽しんでいただく空間。

1990年代から環境アートというフィールドで自然の素材などを使っての作品制作をしている。ただ観るだけではなく、そこに座ったり寝転んだりした時に感じられる居心地、景色、サウンドなどに親しんでもらえるようなアートを目指している。
また「フェアトレード」という環境キーワードにより、世界の平等性、貧困、子どもの労働問題などを再考するきっかけになれば幸いに思う。

HP: <http://shokom.lollipop.jp/>
町田ゆかりのアーティスト：
<http://home.wako.ac.jp/user/m-artist/2015/06/post-154.html#more>



Orientation as Gardening

Material : Wood, Plastic, Metal

An installation work displayed in various venues within the Park and at Youkobo Art Space that was based upon classic Shohin displays - small scale indoor shelves for plants and stones. Eight Assemblage Boards which had been enlarged to human scale and eight pieces of text were installed in these venues. This project continues in London and Vienna.

作庭としての方向性

素材：木、プラスチック、メタル

公園と遊工房アートスペースの2サイトで同時展開。組立式の彫刻作品、書院形式の「違い棚（等身大の「違い棚」のインストレーション）」が形と場所を変えながら、8つの「庭」の物語として会期初日から8日間連続して展開。8日目の作品はしばらくその場所に佇む。このプロジェクトはこの後、ロンドン、ウィーンへと続いていく。

アルムート・リンク
ウィーンを拠点に活動するアーティスト。彼女の作品はリバーポール、ロンドン、東京、横浜、エルサレム、ウィーン、ミュンヘン、北京などで展示されるなど、国際的に活動。

カローラ・プラツェック
ウィーンを拠点に活動するライター / リサーチャー。自身の動筆活動を追求すると共に、アーティストとの共同活動も実施。

<http://www.orientationasgardening.net/>



Material : Mixed media

An installation that reuses hemp bags made for fairtrade coffee beans. It is a space where visitors can enjoy using all their senses as they slowly share their time in the environment of Zenpujuji Park.

eARTh #16-11

素材：ミクストメディア

フェアトレードのコーヒー豆麻袋をリユースしたインスタレーション。善福寺公園の環境をそこでゆっくりと共有し五感で楽しんでいただく空間。

1990年代から環境アートというフィールドで自然の素材などを使っての作品制作をしている。ただ観るだけではなく、そこに座ったり寝転んだりした時に感じられる居心地、景色、サウンドなどに親しんでもらえるようなアートを目指している。
また「フェアトレード」という環境キーワードにより、世界の平等性、貧困、子どもの労働問題などを再考するきっかけになれば幸いに思う。

HP: <http://shokom.lollipop.jp/>
町田ゆかりのアーティスト：
<http://home.wako.ac.jp/user/m-artist/2015/06/post-154.html#more>



水谷俊博 + 武藏野大学水谷研究室

Toshihiro Mizutani + Musashino University, Mizutani Lab.

NIRVANA

素材：合板（オイル塗装仕上げ）

ここ善福寺公園の池のほとりに佇む木のオブジェクト。迷いを抱えた私達は、この空間に半身を預け、様々な思いを巡らせる。自然への接触、悩みからの解放、記憶の体感、自分への見つめ直し。迷いを吹き消し、この円満の境地から出たとき、私達の目に映るものこそ“Nirvana”涅槃”なのかもしれない。

NIRVANA

Material : Plywood (oil finish)

A wooden object that stands here in the park on the edge of Zenpujuji pond. With a sense of bewilderment, the visitor places his/her body halfway into the space, and is brought to ponder various things: Contact with nature, freedom from worries, the sensation of memory, looking anew at oneself ... The hesitation disappears, and when leaving this harmonious state, perhaps what one's eyes will meet can be called "Nirvana".



光彩照明デザイン工房

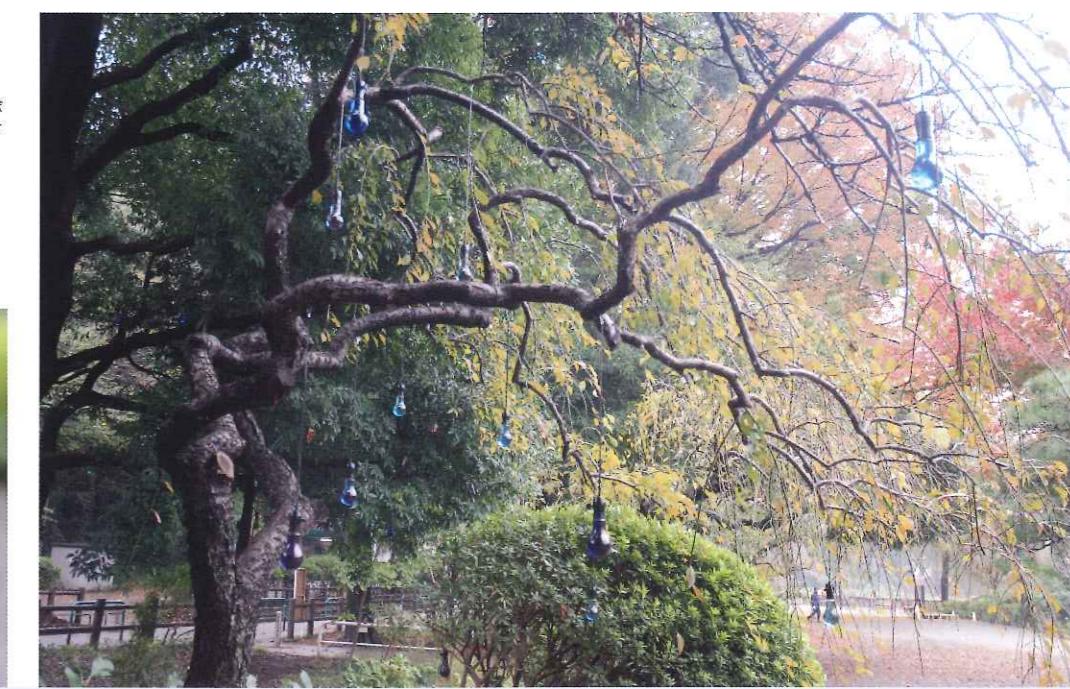
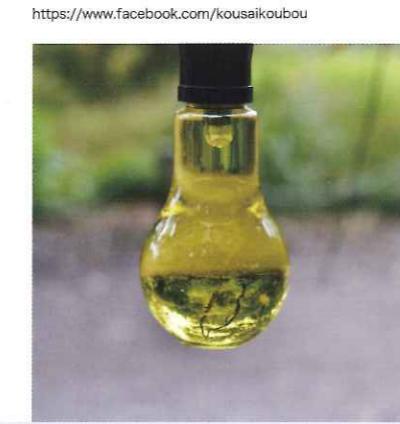
Kousai Shomei Design Koubou

虹のしずく

素材：ビニール平型コード、電球ソケット、電球型プラスチックケース、水

“虹が雨しづくとなって空から降ってきた”

ある一瞬しか見られない虹が降ってきて善福寺公園を彩ります。近寄ってみると一つ一つのしづくには虹色が入り込んでいました。



西荻ラバーズフェス

Nishiogi LOVERS FES

蓮の蕾

素材：木材、中古 CD

蓮の花は、4日間だけ無垢な花を咲かせる、強く健氣で不思議な花です。蕾の外側は地味でも、土から得た様々な要素をひとつひとつ拾い上げ、その内面に目映い多大なエネルギーを秘め、これから蕾の開くたび少しの時をずっと待ちます。西荻ラバーズフェスで生まれた西荻での様々な交流を、花咲かせる蕾であるよう。

2016年3月に桃井原っぱ公園にて初開催をした、西荻ラバーズフェスの実行委員会による制作です。
西荻に住む有志の若者により実行委員会が運営されています。

HP <http://nishiogi-lovers.com>
FB <https://www.facebook.com/nishiogiloversfes>
twitter <https://twitter.com/NishiogiFes>



女子美術大学短期大学部専攻科(有志)

Joshibi Junior College of Art and Design

続いて行く道

素材：テラコッタ

桃四コミュニティスクール4年生(100名程)と女子美の美術コース専攻科生の芦田、木内、下野、三浦とコラボレーションしました。それぞれが、テラコッタ粘土で思い思いの切株を作り、それらを配置・構成させ「未来に続いて行く道」に見立てた1つの作品として完成させました。

The never-ending path

Material : Terracotta

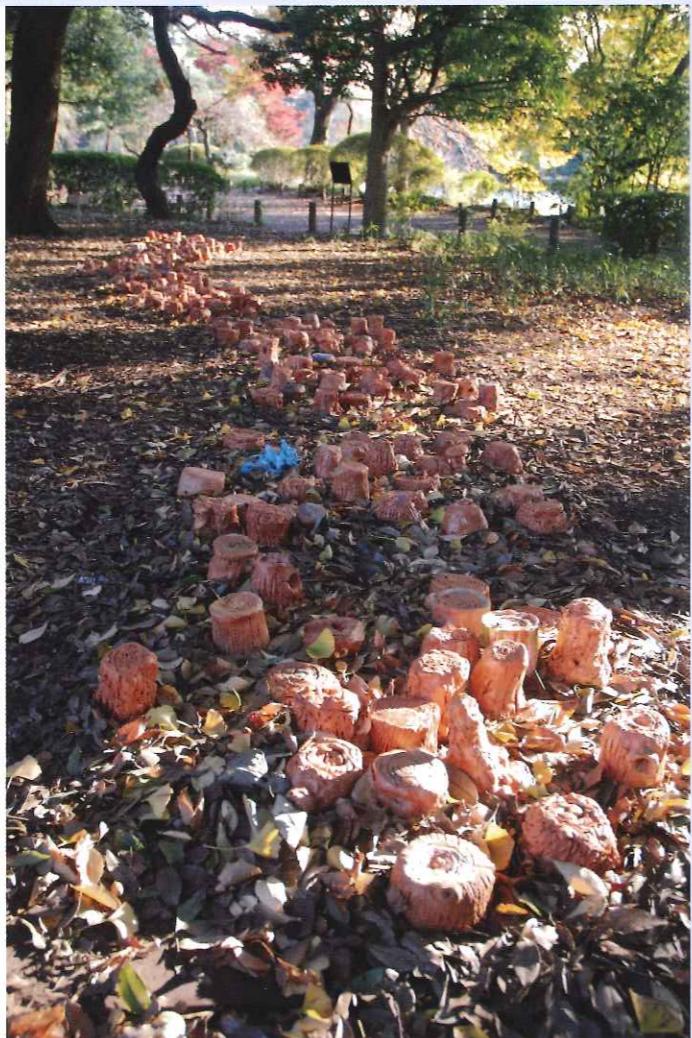
A collaboration between fourth grade students (around 100 pupils) of MOMOSHI Community School and Ashida, Kiuchi, Shimono, and Miura, students of the Art course of Joshibi Junior College of Art and Design. Each participant will create his/her own tree stump out of terracotta clay, which will then be combined into the single work, The never-ending path.



2016年、トロールの森への出展のために、女子美短大専攻科、芦田景衣・木内佑加里・下野双葉・三浦梨紗の4名によって結成。

現在 女子美術大学短期大学 専攻科 美術コース

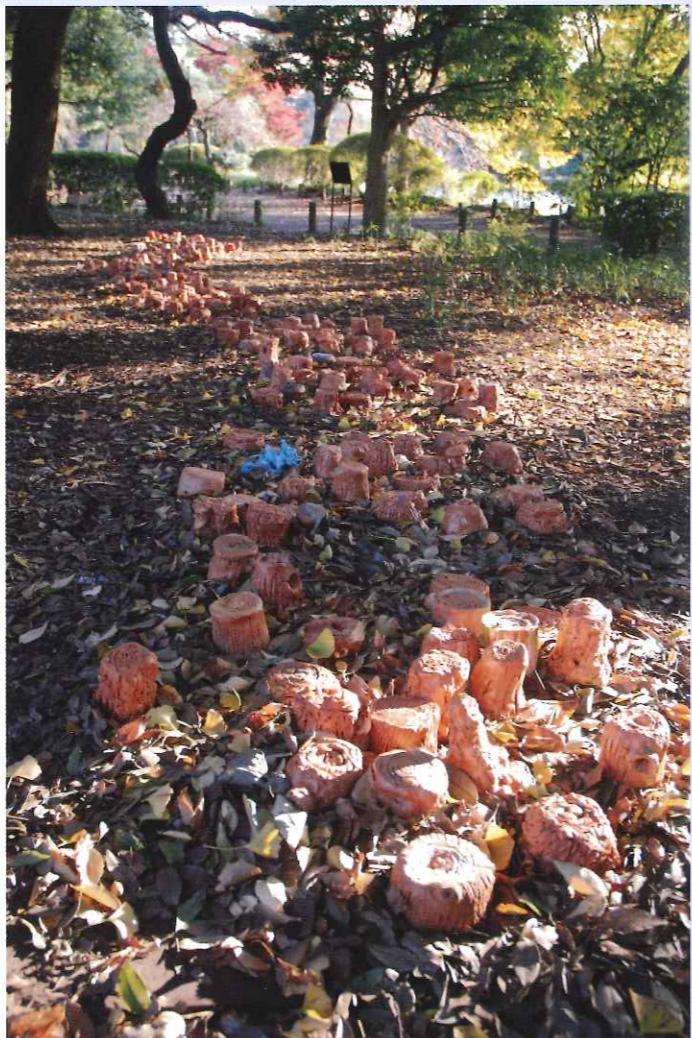
在学中 各自、グループ展・公募展などにて発表。



Bud of lotus

Material : Wood, Used CD

The lotus is a strong, admirable and wondrous plant whose innocent flower blossoms for only four days. While plain from the outside, hidden within the bud is a tremendous and dazzling energy, building over a long period as various elements are gathered from the earth one by one before the bud opens for a fleeting moment. May the various exchanges that take place in Nishiogikubo, the birthplace of the Nishiogi Lovers' Festival, come to flower in the same manner as a lotus bud.



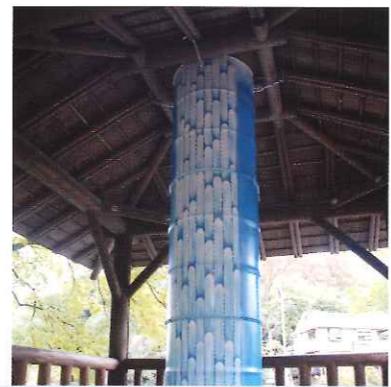
くわナ よしゆき

Yoshiyuki KuwANA

看板・イラスト・壁画・舞台美術・ドラムカンを使った備品

など製作。モノコトが在るということの驚きを、独特な存在感をもつドラムカンを利用して表現。様々な「在る」を描き続ける。個展、ライブペインティング、ワークショップ、イベント出品多数。

HP kuwanayoshiyuki.com
twitter <https://twitter.com/kuwanAyoshiyuki>



WATER ☆ IN THE PARK

素材：ドラムカン、ベンキ、木材

モノコトに気を配ることは、僕たちの存在力だ。無機質で、普段は見過ごされがちではあるがその独特的なパワーをもつドラムカンが善福寺池と戯れている姿を楽しんでほしい。池周辺の景色・姿を楽しく再認識してもらいたい。ここに善福寺池が「在る」、湧き水が生まれ「在る」、その「在るこ自体」の驚きを伝えたい。



塙本 万里

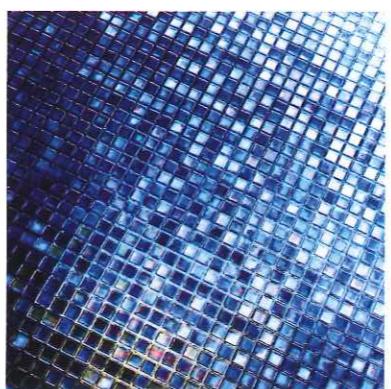
Mari Tsukamoto

色たまり

素材：アクリル、ミラーシート、他

善福寺公園の中の色を集めてたまる、色のたまり場をつくります。「色たまり」を通して、さまざまな秋の色彩を感じてもらえれば、と考えています。

東京芸術大学修士課程在学中。トロールの森には2014年より参加。



Material : Paint on drums, Wood

Giving our attention to objects and events is the power of our presence. I want visitors to enjoy the sight of people playing in Zenpukuji with drum cans that, while inorganic and often overlooked, possess such a unique power. I want visitors to recognize anew the scenery of Zenpukuji pond and the surrounding area. The pond "exists" ... In this way, I wish to convey the surprise of rediscovering existence itself.

市村 多眞美

Tamami Ichimura

遊泳

素材 : FRP

大地を水面に見立て、遊泳するエイの群像彫刻を設置。

1987年 静岡県に生まれる
2011年 女子美術大学大学院美術研究科修士
課程美術専攻立体芸術研究領域 修了
2012年 「・・展」 GALLERY NIW (東京都)
2013年 「彫刻の五・七・五 HAIKU-Sculpture 2013-
かたちで詠む奥の細道」(沖縄)
現在、女子美術大学短期大学部美術コース 助手



Undulating

Material : FRP

A sculpture based on a fever of swimming stingray will be installed in the park, resembling the surface of water.

栗田 昇

Noboru Kurita

どこでも水車の在る風景

素材 : 木材

静かな落し水で回る水車、そこから生まれるパフォーマンスが善福寺池の風景と静かに優しく融け合い、いつもと違う水辺の風景を紡ぎ出す。
懐かしいような・・・、初めてのような・・・。

Landscape with a DOKODEMO Waterwheel

Material : Wood

This performance, inspired by a waterwheel turned quietly by the water, will gently and silently blend in with Zenpukuji pond and the surrounding scenery to create a waterside scene different from the everyday.



水野 歌鳳グループ

(水野 歌鳳、初谷 星虹、香山 麗華、高木 星瞬)

Kaho Mizuno Group
(Kaho Mizuno, Seiko Hatsugai, Reika Kayama, Seishun Takagi)

造形あそび

素材 : 丸太、割り竹、黒ロープ、棕櫚

束縛がなく自由な状態で存在する「直線と曲線」
束縛がなく自由な状態で存在する「軟さと硬さ」
束縛がなく自由な状態で存在する「太さと細さ」
束縛がなく自由な状態で存在する「強さと弱さ」
—— 美しさの交差をとらえる造形あそび ——

Playing with forms

Material : Log, Split bamboo, Rope, Palm

"Lines and curves" existing in a free state without restraint
"Softness and hardness" existing in a free state without restraint
"Thickness and thinness" existing in a free state without restraint
"Strength and weakness" existing in a free state without restraint
— Playing with forms that intertwine in beautiful ways —



SiO

源泉

素材 : セラミック(磁土)

善福寺公園の音を形にする。2016年は、遅乃井滝の水音のイメージを形にする。森のトロール(オルフェ)によるインスタレーション。

C'est la source au parc ZENPUKUJI. J'aimerais exprimer une image à la partition de l'eau de OSONOI avec trolls qui dissident ORPHEES.

SOURCE

Material : Ceramics (Porcelain)

A work that gives shape to the sounds of Zenpukuji Park. In 2016, an image will be created from the sound of the Osonoi spring. It will be an installation by a troll (Orpheus) of the forest.

オトヲカタニスルをコンセプトにセラミックインсталレーション活動中。
クリエイター・ド・アート・セラミック(フランス)。
セラミックデザイン家(日本)。

Activité en céramique pour l'instaration conceptuel :
une forme de sons. Céramiste japonaise qui a obtenu le diplôme de l'art céramique en FRANCE.



河原 拓巳

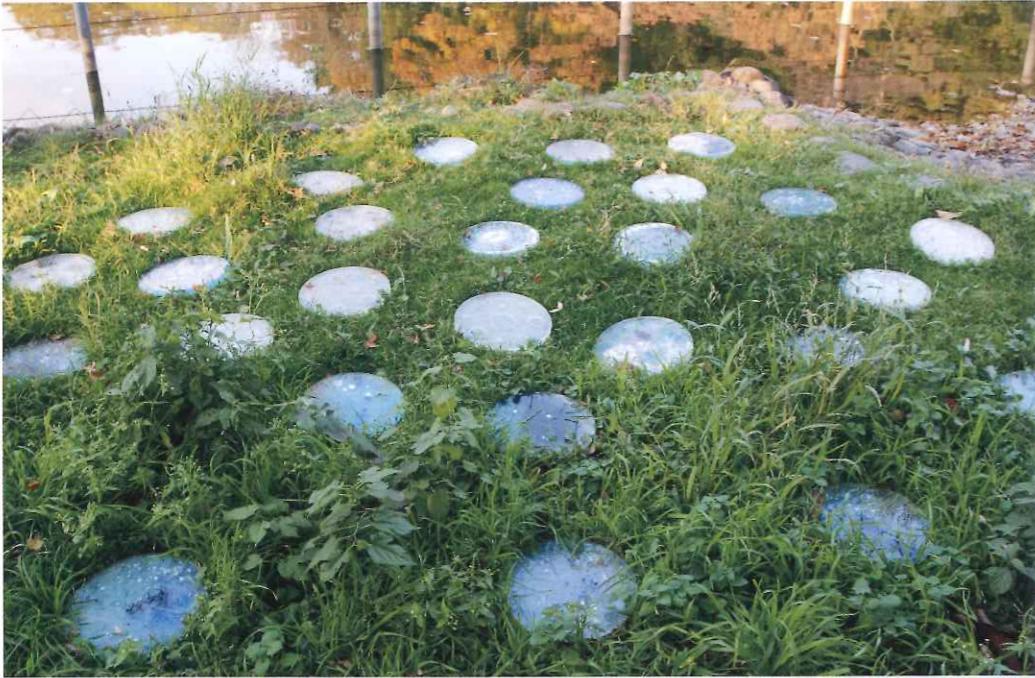
Takumi Kawahara

ガラスの水たまり

素材：ガラス

パート・ド・ヴェールというガラス制作技法による作品。ガラス素材を生かし、自然の中の水たまりをイメージして一つの集合体として表現しました。

玉川大学文学部芸術学科美術専攻卒業。
1997年よりガラス制作を開始。
2001年第3回現代ガラスの美展IN 蘭慶：入選。
2015年第6回現代ガラス展IN 山陽小野田：入選。



グリーンベックスキャンドル

Greenbecks CANDLE

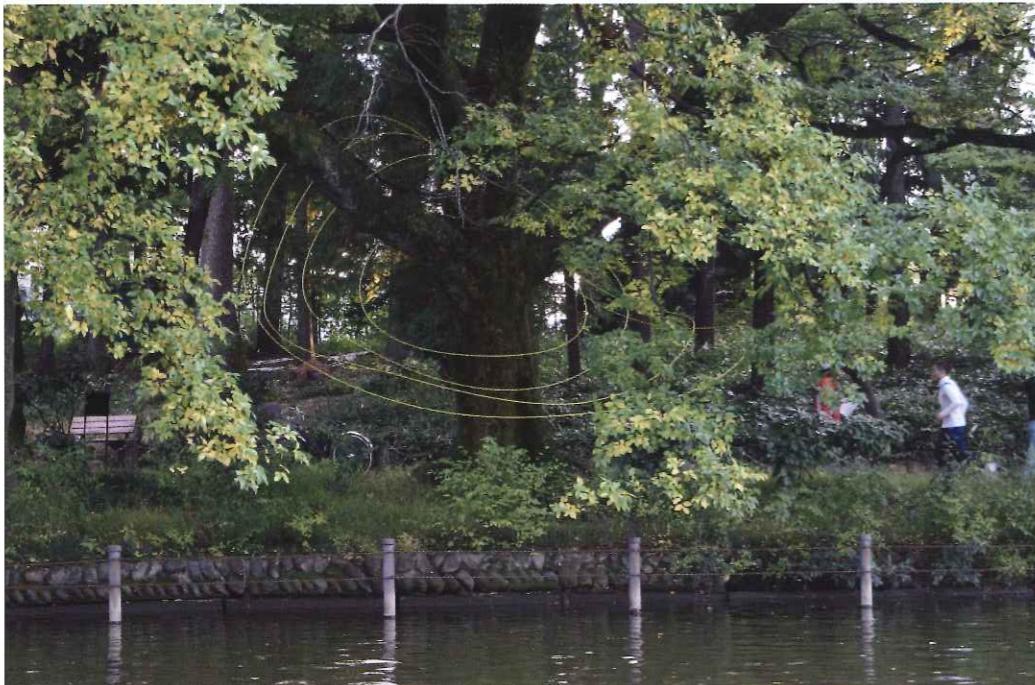
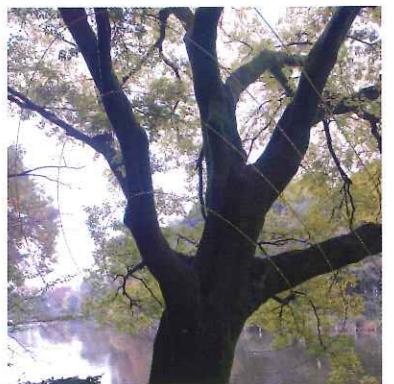
波及効果

素材：ファイバー製ポール

樹は風にたなびき穏やかに揺れる枝葉の動きは、さわさわとした音とともに、私たちのココロを癒してくれます。巨木の持つどっしりとした姿は、そこにあるだけで安心感を与えてくれます。その安心感を紐解くと、もしかしたら樹の幹や枝葉からは、目に見えないようなわずかなエネルギーが、波紋のように出ているのかかもしれません。

西荻のアトリエショップを拠点に、キャンドルの制作、販売、ワークショップを行う。野外フェス、映画、PV、舞台美術、芸術祭、ウェディング、イルミネーションなどで装飾、演出など、活動範囲は多岐にわたる。西荻ラバーズフェス実行委員長。

HP <http://g-becks.com/candle/>
ツイッター <https://twitter.com/GreenbecksSHOP>
フェイスブック <https://www.facebook.com/candleartist/>



The RIPPLE effect

Material : Fiber pole

The movement of the branches and leaves, which sway gently in the wind, create rustling sounds that soothe our hearts. The presence of great trees alone gives us a sense of security. When trying to perceive this sense of security, perhaps one will detect a subtle, invisible energy emitted from the tree trunks and leaves.

中尾 紫香グループ

(浅野 楽 / 菊田 えりか / 中尾 紫香)

Shikou Nakao Group
(Raku Asano, Erika Kikuta, Shikou Nakao)

ソクセキ

素材：木材、塗料

足跡とは歴史や過去でもあり、またこれから歩む未来でもあります。善福寺公園近隣の桃四コミュニティスクールの児童の足型をとり、公園にトロールのソクセキをつくります。

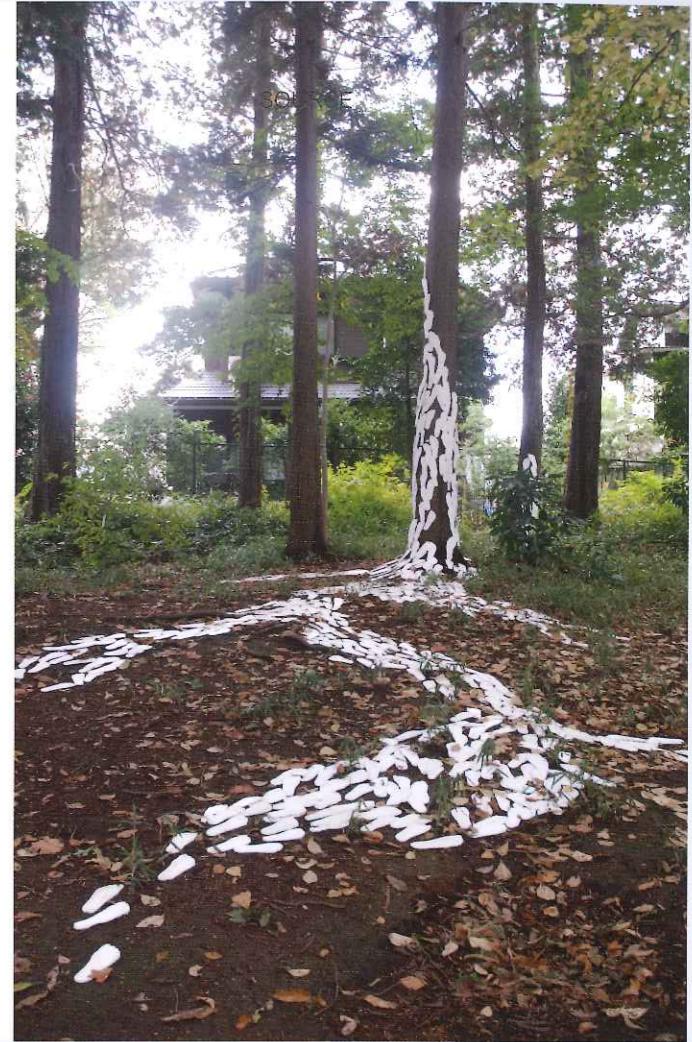
SOKUSEKI-footprints

Material : Wood, Paint

are heading. Tracing the footprints of students from MOMOSHI Community School located in the vicinity of Zenpukuji Park, we will create a footprint of a "troll" in the park.



さまざまな背景をもつ3人が草月流いけばなを通して善福寺公園に集まりました。
2015年より「トロールの森」参加
中尾 紫香、浅野 楽、菊田 えりか



スザンヌ・ムーニー

Suzanne Mooney

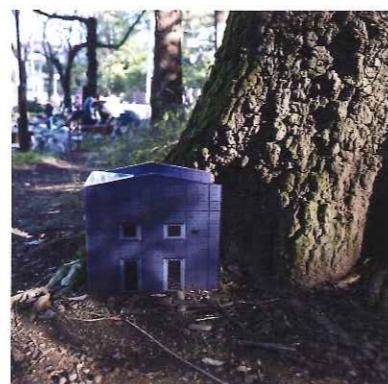
灯影

素材：アクリル板、UVダイレクトプリント

アイルランドの民話には、妖精がしばしば登場します。良い妖精と悪い妖精がいますが、どちらも見つけにくい。アイルランドの子供たちが知っているのは、妖精を見つけたい場合、庭の奥に行って、低木から探索すること。善福寺エリアに住んでいる子供と大人に、この妖精探しの経験の楽しさを伝えたいと思います。



1979年ダブリン生まれ。2014年多摩美術大学博士課程修了。
最近、Aesthetica雑誌の年間賞を受賞。近年の活動は、ビジュアルアーツの景観の表現を使うことによって、我々の住んでいる空間における文化を反映させ、提示する。今年、日本、香港、韓国、ヨーロッパなどで展示する。



A Flicker of Light

Material : Acrylic board, UV Direct Print

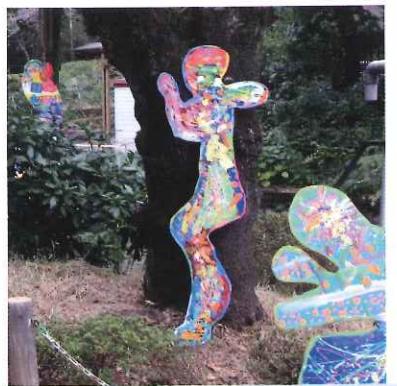
In traditional Irish stories, faeries feature often. They can be good-natured, or a little mischievous, but they are always difficult to find. Every Irish child knows that if you want to find a faerie, you must go down to the end of a garden and search among the shrubs and weeds. For Trolls in the Park 2016, I would like to bring the fun of this childhood experience to children and adults alike in Zenpukuji.

桃四コミュニティスクール おでかけトロール

MOMOSHI Community School

素材：木材、塗料

西荻窪駅からバス通りへとびるトロールたちが、公園内へと続き、森でかくれんば。



ワークショップ Workshop



栗田 昇

日程：会期中の土、日、祝日 実際に水車を動かしました

11.6（日）には「水辺の茶話会～水車と奏でる、おしゃべりと音楽」と題して、「音楽水車プロジェクト」を主宰するミュージシャン岡淳の、水車をめぐるトークを開催。

塙本 万里

日程：11.3（木・祝）、11.13（日）

「色たまりワークショップ」

作品の素材を使って、参加者それぞれが、ミニサイズの持ち運べる「色たまり」づくりにチャレンジしました。

Adventurous Trolls

Material : Woods, Paint

Extending along the bus route from Nishiogikubo station and into the park grounds and woods, you will find trolls playing hide-and-seek.

アートツアー Art Tour



日程：2016.11.3（木・祝）、11.23（水・祝）
アーティストと共に公園をまわり、作品鑑賞を行いました。

トロールの森 鑑賞授業 桃四コミュニティスクール



2016.11.17（木）2～4時間目

桃四コミュニティスクールの4年生を対象に善福寺公園でトロールの森 2016 の野外作品の鑑賞授業が行われました。
児童たちは、作家が質問形式で児童に投げかけた「トロール見つけたシート」を手に、それぞれの感想を書き込んで、アートに触れました。

トロールの森 2016 春展



会期：2016.4.23（土）～5.8（日）

善福寺公園下池の林で、桃四コミュニティスクール4年生110人の「森に遊ぶ子どもたち」と題した作品展が開かれました。今年は、例年以上にカラフルで、かくれんぼをして遊んでいる子どもたちの声が聞こえてくるよう。